

# かいとう 算数解答

①	625	②	208
③	0.7	④	$\frac{3}{11}$
⑤	2040	⑥	10257
⑦	8	⑧	8 <small>あまり 3</small>
(2) ①	4 kg	⑨	時間 4 分
(3)	0.9	⑩	L

3点 × ( )  
外注 / 訂

4点 × ( )  
外注 / 訂

①	2	cm
(2)	32	cm
(3) ①	8	cm
(4) ①	8	cm

4点 × ( )  
外注 / 訂

①	火曜日と土曜日	②	曜日
(1)	21	③	2 月 12 日
(2)	5	④	度
(3)	1	⑤	

3点 × ( )  
外注 / 訂

4点 × ( )  
外注 / 訂

### 選択問題 I

①	1	④	17
(1)	四十九兆三百五十六千万	⑤	284
(2)	7 兆 80 億	⑥	107
(3)	14 億 3000 万	⑦	140 <small>あまり 3</small>
(4)	1 兆 2700 億	⑧	14 人
	6, 7, 8, 9	⑨	13 箱
		⑩	52 円

3点 × ( )  
外注 / 訂

### 選択問題 II

①	5	④	17
(1)		⑤	284
(2)		⑥	107
(3)		⑦	140 <small>あまり 3</small>
(4)		⑧	14 人
		⑨	13 箱
		⑩	52 円

3点 × ( )  
外注 / 訂

# かい 解 説

1 (2)①  $1\text{kg} = 1000\text{g}$ です。

$$4052\text{g} = 4000\text{g} + 52\text{g} = 4\text{kg} + 52\text{g} = 4\text{kg}52\text{g}$$

② 1時間 = 60分です。

$$2\text{時間}28\text{分} + 1\text{時間}36\text{分} = 3\text{時間}64\text{分} = 4\text{時間}4\text{分}$$

(3)  $1\text{L} = 10\text{dL}$ ,  $0.1\text{L} = 1\text{dL}$ です。

$$\text{水色のペンキを}, 1.5\text{L} + 7\text{dL} = 1.5\text{L} + 0.7\text{L} = 2.2\text{L}$$

残りは,  $2.2\text{L} - 13\text{dL} = 2.2\text{L} - 1.3\text{L} = 0.9\text{L}$

2 (1) 円の直径は、半径の2倍です。点アを中心とする円の直径は、下の図1のウオの長さで14cmだから、点アを中心とする円の半径ウアの長さは、 $14 \div 2 = 7(\text{cm})$ です。よって、点イを中心とする円の直径ウエの長さは、 $7 - 3 = 4(\text{cm})$ だから、半径は、 $4 \div 2 = 2(\text{cm})$


(2) 正三角形は3つの辺の長さが等しい三角形、二等辺三角形は2つの辺の長さが等しい三角形です。等しい長さを図にかきこむと、下の図2のようになり、アイ、イウ、ウア、アエの長さはすべて9cmです。エウの長さは、 $23 - 9 - 9 = 5(\text{cm})$ だから、の部分のまわりの長さは、 $9 + 9 + 5 + 9 = 32(\text{cm})$

図1

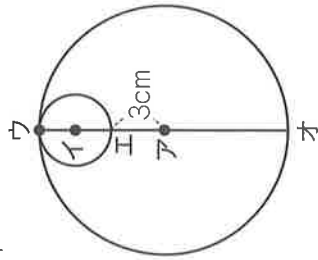
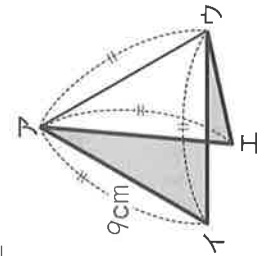


図2



(3)① ボールの直径2こ分の長さが16cmだから、

$$\text{ボールの直径は}, 16 \div 2 = 8(\text{cm})$$

② 箱を上から見ると、右の図3のようになりま  
す。箱のたてにはボールが、 $40 \div 8 = 5(\text{こ})$ 入  
るから、全部で、 $5 \times 2 = 10(\text{こ})$

(4)① 等しい半径に同じ印をつけると、右の図4の  
ようになります。アオの長さは5cmだから、  
アエの長さは、 $5 - 2 = 3(\text{cm})$ で

す。エイの長さも5cmだから、

$$\text{アイの長さは}, \square = 3 + 5 = 8(\text{cm})$$

② 点ウを中心とする円の半径は、  
図4のウカ(ウキ)の長さです。アカ  
とイキの長さは5cmだから、ウカ  
とウキの長さを合わせると、  
 $26 - 8 - 5 - 5 = 8(\text{cm})$ です。

ウカとウキの長さは等しいから、求める長さは、 $8 \div 2 = 4(\text{cm})$

3 (1)① こ数を表すたてのじくの目もりが等しくなっている曜日を読み取りま  
す。こ数が等しいのは、火曜日と土曜日です。

② グラフの折れ線のかたむきが最も急なところを読み取ります。たての  
じくの目もりは、5目もりで10こを表しているから、1目もりは、  
 $10 \div 5 = 2(\text{こ})$ 、半目もりは、 $2 \div 2 = 1(\text{こ})$ です。

右上がりでも最も急なのは火曜日と水曜日の間でちがいは5目もりで  
10こ、右下がりでも最も急なのは木曜日と金曜日の間でちがいは5目も  
り半で11こだから、変わり方が最も大きかったのは金曜日です。

③ こ数が最も多かったのは木曜日で34こ、最も少なかったのは月曜日  
で、 $12 + 1 = 13(\text{こ})$ です。よって、ちがいは、 $34 - 13 = 21(\text{こ})$

\* 月曜日と木曜日が10目もり半ちがうことから求めてもよいです。

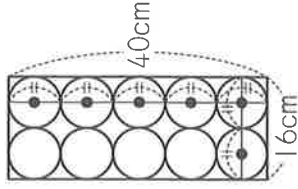


図3

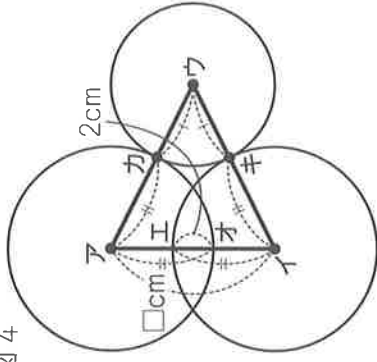


図4

(2)① 同じ月で、B市のグラフの点がA市のグラフの点より上にある月を読み取ります。4月、6月、7月、8月、9月の5回です。

② 同じ月で、A市とB市のグラフの点が最もはなれている月を読み取ると、2月が6目もりはなれています。たてのじくは5目もりて10度を表しているから、1目もりは、 $10 \div 5 = 2$ (度)です。よって、ちがいは、 $2 \times 6 = 12$ (度)です。

\*2月のA市は20度、B市は8度だから、 $20 - 8 = 12$ (度)と求めてもよいです。

③ ア…最高気温が30度をこえた月は、A市が2回(7月、8月)、B市が4回(6月、7月、8月、9月)だから、正しいです。

イ…A市の最高気温において最も高い月は8月で32度、最も低い月は1月で18度、ちがいは、 $32 - 18 = 14$ (度)、B市の最高気温において最も高い月は8月で35度、最も低い月は2月で8度、ちがいは、 $35 - 8 = 27$ (度)です。B市のちがいのの方が大きいから、正しくありません。

ウ…A市の冬の最高気温は12月が20度、1月が18度、2月が20度、B市は12月が13度、1月が10度、2月が8度で、正しいです。

エ…A市が4月、6月、9月、10月、11月、12月の6回、B市が2月、9月、10月、11月、12月の5回だから、正しいです。

**4** (1)① 位取りの表にあて

十	千	百	十	千	百	十	千	百	十
兆	億	兆	億	兆	億	兆	億	兆	億
4	9	0	3	1	5	6	0	0	0
	7	0	0	8	0	0	0	0	0
	7	0	0	8	0	0	0	0	0
				4	0	0	0	0	0
				4	0	0	0	0	0

はめると、右の図5

のようになります。

十億の位の数字は

1です。

(2)① 1兆 = 10000億です。

整数を10倍すると、図5のように、右はしに0が1つついて位が1つ上がります。7008億の10倍は70080億で、7兆80億

② 1億 = 10000万です。

一の位が0の整数を $\frac{1}{10}$ にすると、図5のように、右はしの0が1つつ取れて位が1つ下がります。40000000だから、0を7こ書きます。

(3)① 5億4000万 + 8億9000万 = 13億13000万 = 14億3000万

② 2兆 - 7300億 = 1兆10000億 - 7300億 = 1兆2700億

(4) 一兆の位は3, 千億の位は1, 百億の位は6でそれぞれ同じです。十億の位は5と□だから、□に5をあてはめると、3兆1657億 > 3兆1654億となり、不等号の向きが問題と合いません。よって、□には5より大きい整数である6, 7, 8, 9があてはまります。

**5** (1) 筆算は、それぞれ下のようになります。

① 
$$\begin{array}{r} 17 \\ 4 \overline{)68} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 284 \\ 3 \overline{)852} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 25 \\ \underline{24} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 107 \\ 7 \overline{)749} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 49 \\ \underline{49} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 140 \\ 6 \overline{)843} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 3 \end{array}$$

(2) (人数) ÷ (車両の数) = (1両の人数)です。70 ÷ 5 = 14(人)

(3)  $98 \div 8 = 12$ あまり2より、ペットボトルが8本入ったダンボール箱が12箱できて、ペットボトルが2本あまりります。あまった2本もダンボール箱に入れるから、ダンボール箱は全部で、 $12 + 1 = 13$ (箱)必要です。

(4) 持っていったお金は、 $39 \times 12 = 468$ (円)だから、いちごめ9この代金は468円です。いちごめ1このねだんは、 $468 \div 9 = 52$ (円)



# 国語解答

**1**

小計 2点 × ( ) / 16 ( )

(5)	乗	そ
	る	らす

(6) 鼻血

(2) にが

(1) い

(7) 予想

(3) ひめい

(8) 幸福

(4) うんこう

**2**

小計 2点 × ( ) / 16 ( )

(3)	へらす
(1)	弱い

(4) せまい

(2) 直線

(1) (4) 養記はひらがな・漢字を問わない

**3**

小計 4点 × ( ) / 16 ( )

(4)	① キッチン	② ウ
(3)	① ポルトガル	② ア
(2)	① コロンブス	② イ
(1)	① ギンギシ	② エ

(1) (4) 各完答。①はカタカナ以外不可

**4**

小計 4点 × ( ) / 24 ( )

(5)	ア	(4)	① イ	(3)	エ	(2)	「こはんだよう」	(1)	4 [四]つ
		② イ							

(2) 書きぬき

**5**

小計 4点 × ( ) / 31 ( )

(7)	ア	(6)	服	(5)	が	(4)	① イ	(3)	エ	(2)	土	(1)	① ウ
		エ	が	よ	ご	れ	て	しま	う	が	こ	び	り
													② ダ
													ニ
													に
													か
													ま
													れ
													て
													死
													ぬ
													ぬ
													。

(2) 書きぬき

(4) ② 書きぬき

(5) 書きぬき

(1)② (別例) 「マダニが卓をかむかもしれないから。」  
 ・「ダニにかまれる・ダニがかむ」にあたる内容がないものは0点。  
 「ダニ」は「マダニ」でも可。  
 ・「卓」「(かまれて) しまう」「死ぬ」の有無は問わない。

# かい せつ 解 説

## 1 漢字の読み書き

## 2 反対語

(3) 「ぶやす」の反対は「へらす」です。なお、「ぶえる」の反対は「へる」です。

## 3 カタカナのことは

(1) 物音や鳴き声をそのまま表すことは(擬音語)は、ふつうカタカナで書き表しますが、「ぐずぐず」のような、様子の感じをそれらしく表すことは(擬態語)は、ふつうひらがなで書きます。

## 4 詩(まじ・みちお「かみふうせん」より)

- (1) 詩は、行を空けることで連に分けられている場合があります。この詩では、③・⑥・⑨行目のあとに、それぞれ行空きがあるので、四つの連に分けられていることがわかります。
- (2) 人の言った言葉は、「うと言った」のように表されることが多くあります。ここでは「こはんだようど」よばれても」とあります。
- (3) かみふうせんがふくらむ様子と、かみふうせんをふくらませようとして、こどものほっぺたがふくらんでいる様子がゆかいて、かわいらしいと作者は感じています。本当に見分けがつかなくなっているわけではありません。
- (4) そらとじめんがたがいにいきをする様子を思いうかべてみましょう。上(そら)からも下(じめん)からもいきをふきかけられるので、上につたり下につたりしているのでしょう。
- (5) 詩の①行目に「むかしとやまのふ」とあることから、作者がむかしのことを思い出して歌ったものだとわかります。

## 5 物語(中川なをみ「マグノリアの森」より)

- (1) ① ぼう線①のあとに、「卓にはなんのことやらわかりません」とあるので、ウが正解です。
- (3) アズサの「タニより、このシートのぼうがええぞ。山におるんはマダニいうて、かまれて死んだ人もおるらしい」という言葉を聞いて、卓がどのような様子になったかが空らんに入ります。こわがっているとわかるので、「ぞつと」が入ります。
- (4) ① ぼう線③のあとに、「西のほうに太陽があることは、卓も知っています。でも、月など、まだ夜にもなっていないのに、出ているのでしょうか」とあるので、イが正解です。
- (5) このとき、卓はアズサに服がよこれてしまうからシートにすわりたくないとは伝えていません。しかし、アズサは卓の気持ちを読み取ったかのように「服がよこれてしまうけど」と付け足したので、卓は見すかされているような気がしたのです。
- (6) 卓は「静けさに包まれている自分をいいな」と感じたり、「昼の間に温まった土のぬくもり」を感じたりして、気持ちよくなっているので、エが正解です。アの内容は本文中に書かれていません。イは、実際に卓は声を出して歌っていないので、ふさわしくありません。ウは、風の音については書かれていますが、卓がわずらわしく思っている様子は書かれていません。
- (7) アズサは、マダニにかまれることを知らない卓にシートをわたして、そこにすわることをすすめています。しかし、本文中に「好きにし」とあるように、決して強制はしていません。アが正解です。イは、(5)で見たようにアズサは卓の気持ちを読み取っているので、「相手の気持ちを考えて接することができない」があやまりです。ウは、卓と活発に言葉を交わしていることから、「物静かな」がふさわしくありません。エは、必要以上に卓の世話を焼いているわけではないので、ふさわしくありません。





※答えは、はっきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。  
 また、解答欄からはみ出してはいけません。  
 ※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはっきりと書きなさい。  
 ※解答欄には答えのみ書きなさい。

Ⓐ 6月テスト 小4算数 解答用紙

202406

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

②会場コード(右ヅメ)	⑧性別	⑨受験番号	⑩科目	氏名	⑳総得点
	1	4 男 女	A2		100

⑱選択問題I・II

選んだ選択問題(IかII)を黒でぬりつぶしなさい

I  II

3点× ( ) 小計 /30	1	①	1	②	2	
		(1)	③	3	④	4
			⑤	5	⑥	6
			⑦	7	⑧	8
			①	9	②	10
		(2)	①	kg	g	
			(3)		L	

4点× ( ) 小計 /24	2	(1)	cm	12	② こ 15	
		(2)	cm	13		
		(3)	①	cm		14
		(4)	①	cm		16
	(3)	②	cm	17	② cm 17	

3点× ( ) 小計 /9	3	(1)	曜日と	曜日	18	②	曜日	19	
		(2)	③	こ	20	②	月で	度	22
			①	回	21				
	(3)	③		23					

選択問題 I

3点× ( ) 小計 /21	4	(1)		24		
		(2)	①	兆	億	26
			②	こ	27	
		(3)	①	億	万	28
	②		兆	億	29	
	(4)			30		

選択問題 II

3点× ( ) 小計 /21	5	(1)		24
		(2)	②	25
			③	26
			④	あまり
	(3)	①	人	28
		②	箱	29
		③	円	30

⑳第1領域 \* /34 ① \*...式と計算

㉒第2領域 \*\* /24 ② \*...図形

㉔第3領域 \*\* /21 ③ \*...折れ線グラフ

㉖第4領域 \*\* /21 ④ \*...I. 大きな数 ⑤ \*...II. 1けたでわるわり算

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 足を開いて、胸むねを後ろに反らす。
- (2) 友だちにうそをつかれて苦い思いをした。
- (3) とつぜん肩かたをたたかれて悲鳴ひなめいをあげる。
- (4) 大雪がふってバスの運行うんぎんがみだれる。
- (5) 屋上に行くエレベーターにノる。
- (6) ボールが当たってハナヂはなぢが出る。
- (7) サッカーの試合しあひの勝敗しょうばいをヨソウする。
- (8) コウフクな家庭をきずく。

2

次の(1)～(4)の文の——線部のことばと反対の意味のことばを、それぞれ書いて答えなさい。( )は書かないこと

- (1) 兄は力ちからが強い。
- (2) 曲線まがみちをえがく。
- (3) エアコンの台数をふやす。
- (4) ぼくの部屋は広い。

3

次の(1)～(4)の文から、カタカナで表記されることばを一つずつさがし、①それぞれカタカナに直して書いて答えなさい。また、②そのことばの分類ぶんれいとしてふさわしいものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) いえのちかくのとしよかんはふるいたてものなので、あるくとぎしぎしとなるばしょがある。
  - (2) どくしよがすきなおとうさんからすすめられて、ころんぶすのでんきをよんだ。
  - (3) ぼくのおいちゃんはとでもりよこうがすきで、せんげつもぼるとがるにいつてきた。
  - (4) おかあさんがきつちんでりょうりをしてるあいだ、おとうさんとしよぎをした。
- ア 外国の地名(「トルコ」など)  
 イ 外国の人名(「バッハ」など)  
 ウ 外来語(「ポスト」など)  
 エ 物音(「ジャブジャブ」など)  
 オ 動物の鳴き声(「ニャン」など)

## 4

次の詩を味わい、あとの問いに答えなさい。

かみふうせん

まど・みちお

① むかしとやまの\*おきぐすりやさんは  
くすりをかってくれたいえのこに  
② よくかみふうせんをくれた

③ もらったこどもはうれしくて

④ おもいつきりほったふくらませては  
かみふうせんにいきをふきこんだ

⑤ どっちがふうせんでどっちがこどもか

⑥ よくにた ふくれんぼが ふたり  
このよに かおを そろえると

⑦ ぽーんぽーん ぽーんぽーんと

⑧ そらと じめんが いきをするみたいで  
ごはんだようと よばれても

⑨ ぽーんぽーん ぽーんぽーんなのだった

(注) おきぐすり<sup>むりょう</sup>II家や会社などに無料<sup>むりょう</sup>で薬箱をおき、薬を

使った分だけ料金をはらう仕組み。

(1) この詩は、いくつの連(れん) (まとまり) で出来ていますか。数字で答えなさい。

(2) 詩の中から、人が言った言葉としてかぎかっこ(「」)でく  
くることができるところを書きぬいて答えなさい。

(3) ⑦⑨行目「どっちがふうせんでどっちがこどもか／よくに  
た ふくれんぼが ふたり／このよに かおを そろえると」  
とありますが、この部分に表された作者の気持ちとしてふさわ  
しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア こどもとかみふうせんで遊ぶことができてうれしい気持ち。  
イ かみふうせん<sup>かみふうせん</sup>とこどものちがいがわからずあせる気持ち。

ウ かみふうせんがすぐにわれそうではらはらする気持ち。  
エ かわいらしいこどもの様子にほほえましさを感じる気持ち。

(4) ⑪行目「そらと じめんが いきをするみたいで」について、  
次のそれぞれの問いに答えなさい。

① 「そらと じめんが いきをするみたいで」の表し方の説明<sup>せつめい</sup>  
としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ことばの順番<sup>じゅんばん</sup>をふつうとは逆<sup>さか</sup>にしている。  
イ 人ではないものを人のようにたとえている。

ウ 同じことばをくり返し用いている。  
エ ものの名前を表すことばを行末<sup>ぎょうまつ</sup>に用いている。

② 「そらと じめんが いきをするみたいで」とは、どのよう  
な様子を表していますか。次からふさわしいものを一つ選び、  
記号で答えなさい。

ア かみふうせんが、強い風にふかれてどこかにとんでいく

様子。

イ かみふうせんが、リズムよく上にあがったり下に落ちたりする様子。

ウ かみふうせんが、空高くあがったままでなかなか落ちてこない様子。

エ かみふうせんが、こどもにあきらまれて地面におきざりになっっている様子。

(5) この詩についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア こどもがもらったかみふうせんに夢中むちゆうになるといふむかしふうけいの風景を、作者がなつかしみながら歌っている。

イ 今のこどもにもかみふうせんで遊ぶ楽しさを知ってほしいという作者の思いを歌っている。

ウ かみふうせんで遊ぶ相手がいなかった作者のこどものころのことを、さびしく思い出しながら歌っている。

エ こどもは一人遊びをさせることで成長せいちようするということを、今の親に向けて歌っている。

## 5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

《ぜんそく持ちの卓たくは、空気のきれいな田舎いなかのじいちゃんの家に住んでいます。今日はじいちゃんと近所に住むアズサといっしょに、山へ来ています。》

山のとちゆうまで来て、卓は深呼吸しんこきゅうをくり返しました。たった一本の苗木なえぎは、歩くごとに重くなり、足もとがふらついてしまいました。

やっとのことで山のてっぺんまで登ると、運んできた苗木をそうつと横にたおして、自分のすわる場所をさがしました。つかれてしまつて、立っているのもしんどくなったのです。

卓がこしを下ろそうとしたときです。

①「あかん。すわつたら、あかんよー」

すぐそこまで登ってきたアズサが、大声を上げました。

卓にはなんのことやらわかりません。そのまま、アズサが来るのを待ちました。

アズサはあはあ言いながら卓のところまで来ると、シャベルなどの道具を足もとに投げ出しました。そして、背負せおっていたかごを下ろして、②中からビニールシートを二枚まい出すと、一枚を卓にわたします。

「直接ちよくせつすわつたらあかん。ダニがおるかもしれんて、じいちゃん言うてる。そやから、このシートを使い」

土がこびりついた、きたないシートです。

卓はまよっています。

「ダニより、このシートのほうがええで。山におるんはマダニいうて、かまれて死んだ人もおるらしい」

「死ぬなんて……おおげさだよ」

「ほんまのことや。好きにし」

アズサのことにばに ※ したものの、卓はまだきたないシートにすわる勇氣ゆうきがありません。

アズサは山の斜面しゃめんに自分のシートを広げると、キャップをかぶったまま、あお向けに寝ころがりました。

「空は大きいなあ」

アズサの声を聞きながら、卓は立ったまま、空を見上げました。さつきよりも青くなった空に、白い雲が浮ういています。

アズサが、人さし指を上に向けました。

「あつ、見てみ。太陽も月もあるで」

西のほうに太陽があることは、卓も知っています。でも、月など、まだ夜にもなっていないのに、出ているのでしょうか。

卓は首をもつと後ろにたおしましたが、月など見えません。

「寝たら、よう見えるで。服がよこれてしまっけど」

④ アズサに見すかされているようで、卓はどきつとしました。

服のために寝ころがれないと思われたくありません。それに、やつぱりダニはこわいと思います。

卓もシートの上に、ゆっくりとからだをたおしていききました。あお向けになったとたん、卓に見えるのは空だけになりました。

背中いたのシートを通して小石がちくちくしますが、がまんできない痛さではありません。

真上に、月が見えました。白い半月です。

「すごい、ほんとうに月も太陽もある」

卓の声が聞こえているはずなのに、アズサはなにも言いません。空はまぶしくて、長くは目を開けていられません。

⑤ 卓はそうつと目をつむりました。

静かです。

ときどきふいてくる風が、卓の耳もとでさわさわと音を立てていました。

いなかに来てからはじめて、静けさに包つつまれている自分をいなど感じました。

卓は目を閉じたまま、心の中でつぎつぎと知っている歌を歌っていました。

背中がふわーと温かくなりました。昼の間に温まった土のぬくもりが、卓のからだにたわわってきます。

とろけそうに気持ちがよくて、このまま眠ねむってしまいたいほどでした。

〈中川なをみ「マグノリアの森」より〉

(1) 線①「あかん。すわったら、あかんよー」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① アズサにこのように言われたときの卓の気持ちとしてふさわしいものを次から一つ選えらび、記号で答えなさい。

ア 何でも口出ししてくるアズサにはらを立てる気持ち。

イ 自分のことを心配してくれるアズサに感謝かんしゃする気持ち。

ウ 何がだめなのかわからず、不思議に思う気持ち。

エ おおげさに注意するアズサをゆかいに思う気持ち。

② アズサが「あかーん」と言ったのは、どうなるかもしれないからですか。「くかもしれないから。」という形で、二十字をこえないように（、や。も字数に数えます）書いて答えなさい。

(2) — 線② 「中からビニールシートを二枚出すと、一枚を卓にわたします」とありますが、このビニールシートはどんなシートでしたか。ふさわしいことばを本文中から十六字（、も字数に数えます）でさがし、その初めと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

(3) ※ に入るふさわしいことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ほっと                   イ がくつと

ウ すつきりと           エ ぞつと

(4) — 線③ 「あつ、見てみ。太陽も月もあるで」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① アズサにこのように言われたときの卓の気持ちとしてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア こんな静かな山の中ならば、アズサの言うような不思議なことも起こるかもしれないと思う気持ち。

イ 太陽が見えるのはわかるが、夜になっていないのに月が見えるのだろうかきもんと疑問に思う気持ち。

ウ アズサに言われるまでもなく、太陽と月が同時に見える

ことがあることぐらい知っているとと思う気持ち。

エ 昼に見える月に興味きょうみはあったが、アズサにのせられてシートに寝ころぶのはいやだと思う気持ち。

② このとき出ていた月はどのような月でしたか。ふさわしいことばを本文中から四字で書きぬいて答えなさい。

(5) — 線④ 「アズサに見すかされているようで、卓はどきつとしました」とありますが、卓はどのようなことを見すかされていると思ったのですか。それを説明せつめいした次の文の に入るふさわしいことばを、本文中から九字で書きぬいて答えなさい。  
（ビニールシートに寝ると、  ）と思っていること。」

(6) — 線⑤ 「卓はそうつと目をつむりました」とありますが、目をつむっているときの卓についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア となりにいるアズサが何をしているのが気になって、心が落ち着かないでいる。

イ 山にひびく自分の歌声が気持ちよくて、思わず眠ってしまいそうになっている。

ウ 静けさの中で音を立てる風がわずらわしく、耳をふさぎたくなっている。

エ 山の静けさや土のぬくもりを感じて、山にしていることこころの心地よさを感じている。

(7) 本文中のアズサはどのような人物ですか。次からふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山になれていない卓にアドバイスはするものの、最終的さいしゅうてき

には卓が決めればよいと考えている人物。

イ 卓と仲良<sup>なかよ</sup>くなりたいたい気持ちはあるが、相手の気持ちを考慮<sup>せつ</sup>して接<sup>せつ</sup>することができない人物。

ウ 山のきびしさを理解<sup>りかい</sup>しないで行動する卓にもやさしく接するような、物静かな人物。

エ 卓がいやがっているにもかかわらず、何かと世話を焼<sup>や</sup>きたがるおせっかいな人物。

(これで問題は終わりです)